

言語文化研究科 学位論文（修士論文）審査基準

<p>1. 修了基準</p>	<p>【言語文化コース】 合計 30 単位以上を履修し、かつ、修士論文の審査に合格しなければならない。</p> <p>【ビジネス日本語コース】 合計 30 単位以上修得し、かつ特定課題研究成果の審査に合格しなければならない。</p>
<p>2. 審査基準</p> <p>学位論文 (修士論文・特定課題研究) 審査の要点</p>	<p>【言語文化コース】 提出した修士論文に従い 30 分程度の口頭試問を行う。審査対象者は、研究内容の概要を説明し、審査委員が研究内容について質疑・応答を行う。その他、領域に関連する内容について、適宜口頭によって質疑・応答を行い、修士課程の修了に値するものであるかを評価する。なお、審査対象者はその成果を学内公聴会にて発表する。</p> <p>修士論文 審査の要点</p> <ol style="list-style-type: none"> 十分な問題意識に基づき研究課題を設定しているか。 先行研究を十分に踏まえて研究課題を設定しているか。 研究内容は言語文化研究、あるいは言語文化教育実践研究として意義のあるものか。 論文の構成は適切か。 研究課題を軸として一貫性のある論述になっているか。 専門用語を正しく理解して使用しているか。 公聴会における発表は、研究の内容を十分に伝えているか。また、発表の方法が十分に考慮されているか。 <p>【ビジネス日本語コース】 提出した特定課題研究について審査を行う。なお、審査対象者はその成果を学内公聴会にて発表する。</p> <p>特定課題研究 審査の要点</p> <ol style="list-style-type: none"> 十分な問題意識に基づき、研究課題を設定しているか。 研究内容はビジネス日本語コースの専門性と関連し、研究する意義があるものか。 論文の構成は適切か。 研究課題を軸として一貫性のある論述になっているか。 専門用語を正しく理解して使用しているか。 論文には文献が十分に引用されているか。

	7. 公聴会における発表は、研究の内容を十分に伝えているか。また、発表の方法が十分に考慮されているか。
--	---

言語文化研究科 学位論文（博士論文） 審査基準	
1. 修了基準	必修 16 単位、選択 8 単位、合計 24 単位を修得し、かつ博士論文の審査及び試験に合格しなければならない。
2. 審査基準 学位論文（博士論文） 審査の要点	<ol style="list-style-type: none"> 1. 研究内容が当該領域の国際的な学術的水準に達している。 2. その研究領域、及び社会に寄与できる研究である。 3. 単著または筆頭著者として、博士論文に関連する研究論文が査読のある学術誌に複数掲載されている、あるいはその許可がすでに得られている。 4. 複数の研究が論理的な関連性をもって博士論文を構成している。 5. 以上の審査基準に従い、論文の様式等の細則は別途定める。